

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

1 目指す姿と数値目標

企業理念

一芸を極めて世界に挑戦。圧力計測・制御分野でのリーディングカンパニーとして、安全・安心・信頼をお届けすることを使命とした製品提供を通じて社会貢献を継続

売上高
753億円

営業利益率
12.9%

ROE
10%

2 中長期の経営戦略

1. 既存事業の競争力強化

不採算製品の価格改定・コスト低減。機種統廃合による共通化。技術部門の新組織体制。水素・アンモニア事業や半導体用途への注力。ICT・デジタル技術活用

3. 新たな事業領域の拡大

光学式圧力センサの特性を活かした極限環境用途開発。高精度圧力計測・制御開発と校正機器開発で計測制御機器セグメント強化

2. グローバル戦略の強化

Ashcroftブランド確立と地産地消推進。メキシコケレタロ工場で北米向け生産拡大。中国工場でも同様対応。欧州製造拠点をドイツに集約

4. 経営基盤の強化

サステナビリティ・ESG経営推進。GHG削減・環境負荷低減製品開発。多様性確保・人材育成。サプライチェーン管理。DXとサイバーセキュリティ強化

3 対処すべき課題

① 市場環境への対応

- ・エネルギー価格・物流・資材・光熱費・原材料価格の高騰対策
- ・米国関税政策の不安定性への対応
- ・半導体業界の在庫調整局面（2026年以降の回復見込み）への対応

② 生産能力増強

- ・2024年度に小型圧力計・半導体向け圧力センサの新製造ライン稼働
- ・丸子電子機器工場増設で圧力センサ素子工程を集約（2025年9月稼働予定）
- ・水素・医療・半導体分野向けの設備投資と新工場建設視野

③ 中期経営計画の達成

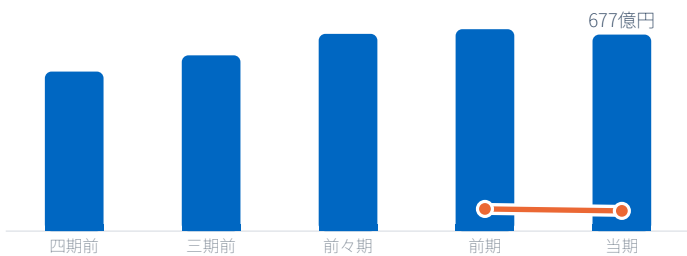
- ・2025年3月期は売上高・営業利益で前年度超も計画未達
- ・2025年度売上高見通しを671億円で設定（製造業の設備投資抑制受け）
- ・次期中期経営計画へ向けた持続的成長を目指す

面接で使えるポイント

- ・圧力計測分野でのリーディングカンパニーとして、FA・建設機械・半導体・社会インフラなど多業界へのニーズ拡大に対応
- ・水素・アンモニアなど脱炭素化事業や光学式圧力センサの極限環境用途開発で新領域を創造
- ・日本・米国主要拠点としたグローバル展開とAshcroftブランド確立で世界競争力を強化

証券コード 7715

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高
677億円営業利益率
10.3%財務健康度
64点 / 100点

将来性 晴れ時々曇り / 就活偏差値 46.4（当サイト算出の参考指標）

平均年収
532万円

精密機器内 45位/50社

平均年齢
42.3歳

精密機器内 29位/51社

平均勤続
18.4年

精密機器内 8位/51社

女性管理職
4.4%

精密機器内 30位/39社

男性育休
61.1%

精密機器内 32位/35社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

参考: 長野計器[7715]: 剰余金の配当に関するお知らせ 2026

